

設備工事(バルク貯槽)届書(別紙 1-1)

1 バルク供給に係る技術上の基準に対応する事項

貯 蔵 能 力		Kg (Kg × 基)		
規則 19 条	項 目	対 応 事 項	添 付 書 類	
3 号 イ	バルク貯槽の規格	地上式・地下埋設式 容積 _____ m ³ 材質 _____	製品仕様書及び 明細図	
3 号 ロ	保 安 距 離	用途地域等(工業専用地域・工業団地・その他の地域) 第1種保安物件までの距離 _____ m 第2種保安物件までの距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 構造壁等の有無 有 ・ 無	設置場所付近配置図 (保安距離を示す) 構造壁等の配置図、 構造図 施工時写真	
3 号 ハ		試験合格品 ・ 大臣認定品 元弁をみだりに操作できない措置		
	(1)	安 全 弁 及び安全弁元弁	所要吹出し量 W ₁ = _____ kg/h 規定吹出し量 W ₂ = _____ kg/h	
	(2)	液 面 計	試験合格品・大臣認定品・その他 方式: _____	
	(3)	過 充 填 防 止 装 置	試験合格品・大臣認定品・その他	
	(4)	カッ プ リン グ 用 液 流 出 防止装置付き液取入弁	試験合格品 ・ 大臣認定品	
	(5)	ガ ス 取 出 弁 及びガス放出防止器等	試験合格品 ・ 大臣認定品 ガス放出防止器・緊急遮断装置(試験合格品・大臣認定品・その他・無)	
	(6)	液 取 出 弁 及びガス放出防止器等	試験合格品 ・ 大臣認定品 ガス放出防止器・緊急遮断装置(試験合格品・大臣認定品・その他・無)	
	(7)	カッ プ リン グ 付 け 均 圧 弁	有(試験合格品・大臣認定品)・無	
	(8)	付 属 機 器 (1)~(7)の保護	プロテクター厚さ _____ mm	
	(9)	警 戒 標	表示内容: 液化石油ガス・LPガス・火気厳禁	施工後写真
	(10)	緊 急 連 絡 先 の 表 示	表示内容:	施工後写真
	(11)	腐 食 防 止 措 置	1. 錆止め塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μm 2. 上塗り塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μm 3. 電気防しよく措置(地下貯槽) 有(マグネシウム _____ kg × 本)・無 防しよく電位測定端子・プロテクターとの 電氣的絶縁・配管との絶縁継手等	施工時写真
(12)	支 柱 又 は サ ド ル 等	支柱 ・ サドル ・ その他	施工後写真	

設備工事 (バルク貯槽) 届書 (別紙 1 - 2)

3号ニ (地上貯槽)	(1)	基 礎	地盤面からの高さ _____ cm	施工時写真
	(2)	車輛が接触しない措置	措置方法:	施工時写真
	(3)	支柱又はサドル等の固定		施工後写真
	(4)	接 地	接続線の断面積 _____ mm ² 接続方法: 接地棒の直径 _____ mm 長さ _____ mm	施工後写真
	(5)	安全弁放出管の設置	頂部からの高さ _____ cm	施工後写真
3号ホ (地下貯槽)	(1)	頂部は地盤面下30cm以上	頂部埋設深さ _____ cm	施工図面・施工時写真
	(2)	埋 設 場 所 に 車 輛 乗 入 不 可 の 措 置	措置方法:	施工後写真
	(3)	浮き上がり防止措置	バルク貯槽空体総質量 _____ kg コンクリート板の質量 _____ kg バルク貯槽の全容積 _____ m ³ コンクリート板の容積 _____ m ³	施工図面・施工時写真
	(4)	石塊等のない土砂の使用		施工時写真
	(5)	ガス検知用孔あき管設置	設置本数 _____ 本	位置図・施工時写真
	(6)	標 識 杭 の 設 置		位置図・施工時写真
	(7)	プロテクターのふた	不燃性断熱材の裏あて _____ mm	貯槽仕様図面
3号ハ	2 m以内の火気をさえぎる措置及び屋外設置	敷地境界線までの距離 _____ m 措置方法:	配置図(火気距離示す) ・ 構造図・施工後写真	
4号	貯槽は漏洩がないこと	試験圧力 _____ MPa		
5号	ガス漏れ検知器の設置 常時監視システムと接続	常時監視システム 有 ・ 無 常時監視装置設置場所 住所 _____ 名称 _____	無の場合にあっては、告示に定める要件に適合する資料	
6号	貯槽と調整器間の液状 液化石油ガスの滞留防止	単段減圧式をプロテクター内・ 二段減圧式一体型を貯槽の直近 ・ 二段減圧式分離型の一次側をプロテクター内・ その他	施工後写真	
7号	規則第18条第4-7号,第8号の2-16号,第18-22号の基準	(別 紙 3)		
8号	供給管の耐圧試験	耐圧試験圧力 貯槽・調整器 _____ MPa 調整器・メータ _____ MPa 一次調整器・二次調整器 _____ MPa		

設備工事(バルク容器)届書(別紙 2 - 1)

1 バルク供給に係る技術上の基準に対応する事項

貯 蔵 能 力		Kg (Kg × 基)		
規則 19条	項 目	対 応 事 項	添 付 書 類	
1号 (貯蔵能力千キログラム未満)	イ	カップリング用液流出防止装置付き液取入バルブ	カップリング用液流出防止装置 (試験合格品 ・ 大臣認定品)	
	ロ	ガス取出バルブ及びガス放出防止器等	ガス放出防止器 ・ 緊急遮断装置 (試験合格品 ・ 大臣認定品 ・ その他 ・ 無)	
	ハ	液取出バルブ及びガス放出防止器等	ガス放出防止器 ・ 緊急遮断装置 (試験合格品 ・ 大臣認定品 ・ その他 ・ 無)	
	ニ	カップリング付き均圧バルブ	有(カップリング 試験合格品・大臣認定品) ・ 無	
	ホ	液 面 計	試験合格品 ・ 大臣認定品 ・ その他 方式：_____	
	ヘ	過 充 填 防 止 装 置	試験合格品 ・ 大臣認定品 ・ その他	
	ト	付属機器イ~ハの保護	プロテクター厚さ _____ mm	
	チ	警 戒 標	表示内容：液化石油ガス・LPガス・火気厳禁	施工後写真
	リ	緊急連絡先の表示	表示内容：	
	ヌ	腐食防止措置	1. 錆止め塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μm 2. 上塗り塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μm	
	ル	スカート又はサドル等	スカート ・ サドル ・ その他	施工時写真
	ヲ	基 礎	地盤面からの高さ _____ cm	施工時写真
	ワ	車輛が接触しない措置	措置方法：	施工時写真
	カ	安全弁放出管の設置		施工後写真
	ヨ	2m以内の火気をさえぎる措置及び屋外設置	敷地境界線までの距離 _____ m 措置方法：	配置図(火気距離示す) ・ 構造図・ 施工後写真
	タ	常に40以下に保つ		構造図

設備工事 (バルク容器) 届書 (別紙 2 - 2)

2号 (貯蔵能力 三千キログラム 以上未満)	イ	保安距離	用途地域等(工業専用地域・工業団地・その他の地域) 第1種保安物件までの距離 _____ m 第2種保安物件までの距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 障壁の有無 有・無	設置場所付近配置図 保安距離を示す図面 (斜角距離を含む。) 貯蔵設備の構造図 (障壁の構造)
	ロ	火気を取り扱う施設距離 及び液化石油ガスの流動 を防止する措置	火気を取り扱う施設距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 液化石油ガスの流動を防止する措置 _____	耐火性の壁類等の 配置図及び構造図
	ハ	屋根又は遮へい板	材質:	構造図
	ニ	消火設備の設置	消火器の個数 _____ 個 消火器の能力 A - () B - ()	設置場所の位置図
	ホ	規則19条1号イ~カま での基準	(別紙2-1)	
4号	容器は漏洩がないこと	試験圧力 _____ MPa		
5号	ガス漏れ検知器の設置 常時監視システムと接続	常時監視システム 有・無 常時監視装置設置場所 住所 _____ 名称 _____	無の場合にあっては、 告示に定める要件に 適合する資料	
6号	容器と調整器の間の液状 液化石油ガスの滞留防止	単段減圧式を [°] ロケター内・二段減圧式 分離型の一次側を [°] ロケター内・その他	施工後写真	
7号	規則第18条第4-7号,第8号の2- 16号,第18-22号の基準	(別紙3)		
8号	供給管の耐圧試験	耐圧試験圧力 貯槽-調整器 _____ MPa 調整器-メータ _____ MPa 一次調整器-二次調整器 _____ MPa		

設備工事 (バルク供給) 届書 (別紙 3)

2 供給状況等

高 圧 部	主な管の材料	
中・ 低 圧 部	露出部	主な管の材料
	埋設部	主な管の材料
	ピット	有 (図面に明記すること。) ・ 無
供 給 状 況	調 整 器	自動切替式 (1. 分離型・2. 一体型) 二段減圧式 (1. 分離型・2. 一体型) 単段減圧式
	メ ー タ ー	マイコン ・ S ・ S B ・ E E B ・ その他 () , _____ 号
	ガス漏れ警報器連動遮断装置	有 ・ 無
	対震自動ガス遮断装置	メーター内蔵 ・ 感震器連動
	ガス漏えい検知装置	有 (1. 流量検知式・2. 圧力検知式・3. 流量検知式圧力監視型) ・ 無
	気化装置 (添付書類)	有 (形式 _____ , 能力 _____ kg/h) ・ 無 (認定書の写し)
消 火 器	能力単位 A - () , B - () 本数 () 本	

3 充てん設備に係る事項

項 目	対 応 事 項	添 付 書 類
充 て ん 事 業 者	名称 _____	
充 て ん 設 備 の 種 類	規則第 6 4 条第 1 項に基づく設備 (新 型) 規則第 6 4 条第 2 項に基づく設備 (従 来 型)	
車 輜 登 録 番 号	登録番号 _____	
貯蔵設備の記号及び番号	記号 _____ 番号 _____	
許可番号及び許可年月日	許 可 番 号 _____ 許 可 年 月 日 _____ 年 _____ 月 _____ 日	
車 輜 停 車 位 置	第 1 種保安物件までの距離 _____ m 第 2 種保安物件までの距離 _____ m	停車位置付近の図面

様式 16 . 3 - 4 (バルク様式 4 - 4)

設備工事 (バルク供給) 届書 (別紙 4)

4 設備士等

設備士名		設備士免状番号	県 No.
設備士再講習受講年月日	年	月	日
ポリエチレン資格者氏名	資格番号		
配管用フレキ管資格者名	資格番号		
施工後の表示	有・無	施工完了年月日	年 月 日
工事業者連絡先電話番号			
販売事業者名・電話番号	有 () ・ 未定		

5 その他の添付書類

1	現地への案内図 (最寄り駅から所在地までが確認できるもの)
2	供給管の配管図
3	施工設備士の免状の写し (再講習受講記録、ポリエチレン管及びフレキ管資格を含む。)
4	気密試験結果 (自記圧力計の記録用紙の写し) * 中圧部分がある場合はその結果も必要